

2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 27 日作成)

委員会名	地域環境評価と心理生理WG	主査名：山中 俊夫
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(環境心理生理小委員会)	主査名：讃井 純一郎
設置期間	2003 年 4 月～2005 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画	<p>光環境、熱環境、音環境、空気環境などの統合評価に関する知見を発展させ、心理生理反応の複合効果を考慮した新たな地域環境評価法確立のための基礎を築くことを目的とする。</p> <p>2003 年度は、評価法確立のための方法論について検討し、評価モデルに関する検討、主体別評価シートの作成、行政における評価法活用に関する検討について個別に資料収集を行うことを主たる活動内容とする。</p>	
委員構成 (委員名(所属))	秋田 剛(東京電機大学)、石田 泰一郎(京都大学大学院)、井上 容子(奈良女子大学)、合掌 顕(岐阜大学)、鈴木 広隆(大阪市立大学)、竹原 広美(ノートルダム女子大学)、土田 義郎(金沢工業大学)、鍋島 美奈子(大阪市立大学)、西名 大作(広島大学)、原 直也(関西大学)、松原 斎樹(京都府立大学)、光田 恵(大同工業大学)、宮本 征一(摂南大学)、山中 俊夫(大阪大学)、渡邊 慎一(大同工業大学)	
設置 SWG (SWG 名:目的)	地域環境評価モデル SWG: 地域環境評価と心理生理 WG の活動における目的のうち、特に環境の複合的影響を考えた人間の評価の枠組み全体をあらわす一般的モデルを提案することを目的とする。	
2003 年度予算	224,100 円	

項目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	2003 年 4 月 26 日・13 名 2003 年 7 月 22 日・9 名 2003 年 10 月 4 日・11+1*名 2003 年 11 月 20 日・9+4*名 2004 年 1 月 31 日・9 名 2004 年 3 月 10 日・10 名 (*はオブザーバー参加者数)
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境評価研究の枠組みに関する検討を行った。 ・地域環境評価研究に関する文献調査リストの作成を行った。 ・街作りと環境心理生理研究について行政担当者との意見交換を行い、今後の活動方法についての参考とした。 ・公開研究会「環境心理生理からのアプローチによる住区・街路の計画と評価」を開催し、建築計画学の研究者とのディスカッションを行った。例えば「住民指導型まちづくりの支援」のアプローチは、計画学的に見て評価できることを確認した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) <ul style="list-style-type: none"> ・地域環境評価研究に関するレビューについては、各委員で調査対象文献を挙げたところまでしかできていないので達成度は 50%。 ・地域環境評価法の枠組みの構築に関しては 40%。 ・問題点、疑問点の整理に関しては、行政の方と建築計画学の研究者との意見交換を行うことで、90%の達成度。
その他評価すべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・各委員が地域環境評価にかかわる問題意識を整理、確認した。 ・地域環境評価研究を街作りや環境デザインの現場でどのように生かすことができるかについて検討を行った。